

わくわく にしこおり

令和 2年 11月 17日
富田林市立錦郡幼稚園
園長室 NO. 38

ビオトープ大作戦 大成功！ ～みなさんの力で素敵なビオトープができあがりました。～

14日(土)、素晴らしい天気恵まれ、待ちに待った「ビオトープ大作戦」を行いました。当日は、幼稚園からは在園児と教職員、保護者の皆さま、この大作戦を行うきっかけを作り計画を立てて卒園していった現小学校一年生のみんなとその保護者さま、加えてこの計画を中心になって進めていただいております「環境団体bioa」の瀬口和矩氏、助手として京大生の平子さんをはじめ、関西国際大学の環境教育関係の研究生の学生12人、教育実習に来ておりました2人の大阪大谷大学生、そして川の底に敷く素材を供給していただいている業者の方、川野前園長先生、錦織先生など、総勢80人での川づくりとなりました。

9時半より開会式を行い、瀬口さんより作業の大まかな流れを説明していただき、細かな作業分担の指示により作業に取りかかりました。あらかじめ掘ってあった溝のごみを取り除きさらに削った上に、ベントナイトという川底になるシートを川のサイズに切り、その上に土を全体的に7～8cm程度入れ踏み固める、そしてまた土を入れ踏み固めるの繰り返しで進めました。その後ヤシの繊維で作った網目のシートを敷き、その上にさらに土を入れて固めるといった工程でした。少し汗がにじむぐらいの作業でしたが、土をバケツや可愛い園児用の二輪運搬車で運ぶもの、土をならし踏み固める人、大きな築山の土をバケツ等に入れる人、滝の部分を作っていく人、本来のビオトープの部分と川をつなぐように改修してくれている大学生とそれぞれの持ち場で精いっぱい頑張りました。一生懸命の中に、「どんなんできるんやろう？」といった疑問や期待が溢れている元気な笑顔があちらこちらに見られました。私は本当に素晴らしい空間に存在しているなあと感動しきりでした。途中で橋も作っていただきました。園児たちは自分が石川で拾ってきた石や橋の板に名前を書いたりと楽しみながら取り組んでおりました。

土を入れ込んだところでお昼になってしまい、今後の工程の確認を行い、参加者全員で記念写真を撮り解散となりました。午後には大学生と教職員で、用意していた石を入れ込み滝と川を完成させ、ビオトープと繋げました。2枚目に続く前日、彼方幼稚園に行った帰りに石川でゲット 7～8m程度の土を入れて踏んで固めました。



これからやることを平子さんが説明しています。ベントナイトの敷き方を業者の方が説明



持てるだけの土を入れコツコツ運んでいます。



もくもくと運んで踏み固める繰り返しでした。



ベントナイトをロールから切断、PTA大活躍！



築山状態の土をお父さんが力強く使える土に！



大学生の一部の方はビオトープの改修中です。

滝になるところはより丁寧に作っています。

ベントナイトを慎重に敷き詰めています。



15cm程度の土を入れた後は、ヤシの繊維で編んだ網目のシートを張り崩れないように。

石川で拾ってきた石にサインしました。



一段落するところまで終えて全員で記念撮影

作ってもらった橋の裏面にも自分たちの名前を書きました。とても丈夫で素敵な橋です。



用意した石（より自然に近くということで石川の川原でいただきました。）をレベル（高低）を意識しながら敷き詰めていきました。



大学生の皆さんは疲れた様子を見せることなく、黙々と丁寧な作業ぶりで川を完成させてくれました。感謝の念にたえません。



本日出来上がりを見てみんな大喜びです。

今後はビオトープの水をポンプで滝(上流)の部分にもっていき、常時水が流れ循環することになり、より自然の環境に近づくこととなります。ちょっとした川原の部分ができ、癒しの空間にもなることを期待しております。さらに園児たちがアオミドロの発生状態や、酸素の供給といったことに気付き、この大作戦を計画したことを今後入園してくる子どもたちにも伝えていきたいと思ひます。



在園児たちがどのようにこの川やビオトープに関わっていくのか、どんな新たな気付きがあるのか楽しみです。「わくわく発見にしこおり」で進めていきます。

この活動にご協力いただきましたすべての方々に、教職員、園児一同心よりお礼申し上げます。(石川の石をいただくにあたっては、富田林土木事務所に連絡しております。)